

「不法投棄に関するアンケート」 追加調査結果報告

資料3

第二回では4自治体に対してアンケート・ヒアリングを実施したが、追加調査として44自治体に対しアンケートを実施。

アンケート方法

05年9月下旬、沖縄県内44自治体に対し、郵送によりアンケートを送付
05年11月下旬、未回答全自治体に対し、電話により回答協力依頼(12月10日回答締切)

回答結果

7自治体から回答(回答率16%)

回答結果の特徴

()内は7自治体からの回答の件数

1) 不法投棄の特徴

- ・投棄場所: 山林(2)・原野(2)・海岸(1)・道路(1)
- ・投棄内容: **廃家電の投棄(5)**
- ・投棄規模: **小規模投棄(5)**
- ・その他: 投棄の**常習性(5)**、不適正処理(1)

2) 不法投棄監視の現在の取り組み

- ・市民・職員などによるパトロール(6)
- ・看板・柵の設置(6)
- ・広報などによる啓蒙活動(4)
- ・法整備(2)

3) 課題

- ・**監視コスト(システム費用、人件費) (5)**
- ・**投棄者の割り出し・特定が困難 (2)**

4) 不法投棄監視システムへのニーズ

- ・**24時間365日監視 (3)**
- ・不法投棄**常習場所への設置**(対策を放置するとさらに増えるため) (3)
- ・人件費、撤去費の削減効果 (1)